



1 学校教育目標 心豊かにたくましく いのち輝く子どもの育成

櫛引地域小中一貫教育の目標 自ら学び 自らきたえる 心豊かな子どもの育成
めざす子ども像

- 【進んで学ぶ子】1 「自立して学び、自分の伸びを実感できる」
【思いやりのある子】2 「かかわる力を高め、やさしさのある行動ができる」
【健康でやりぬく子】3 「めあてを持ってたくましい心身をつくることができる」

2 めざす学校像

みんなにウエルビーイングな学校
～多様な人々、豊かな学びの環境に囲まれ、みんなが生きがいや幸せを感じる楽しい学校～

3 めざす子ども像実現のための視点及び手立て

【進んで学ぶ子】

(1) 自立して学ぶ力の育成

①授業づくり

複式指導の良さを取り入れた授業づくり

②学習リーダーの育成

③正しく読むための音読の習慣化

④幅広い読書の習慣化

(2) 自分の伸びを実感する

①一人一人の実態に合わせた支援・評価

②授業と家庭学習を

つなぐ支援の在り方

③家庭との連携・協力

(変容・成長の共有)

自立

【思いやりのある子】

(1) かかわる力の育成

①温かな人間関係

②主体的な縦割り・児童会活動

③「東小みんなの約束」

④家庭、地域を巻き込んだ

あいさつの励行

協働

(2) やさしさの涵養

①「東小みんなのしぐさ」

② 多様性の尊重

③ 道徳教育の深化

④ 福祉教育・人権教育の充実

⑤ キャリア教育の推進

【健康でやりぬく子】

(1) めあてを持った運動の推進

①様々な運動に親しむ習慣形成

②自分のめあてに挑戦しようとする心の育成

③体力、運動能力の向上

挑戦

(2) たくましい心身をつくる

①早寝早起きの励行

②望ましい食習慣の形成

③ゲーム・メディア時間の約束

④いのちの学習

⑤「新しい生活様式」の実践

非認知能力の育成

自ら学ぶ力 創造力 自己管理能力 人間関係力 思いやる力 コミュニケーション能力 耐力 挑戦力

4 学校づくりを支える4つの柱

■柱1 子ども・保護者に安心感を持たせる職員一人ひとりの輝き

○職員自身の心身の健康保持

○法令順守・綱紀保持

○ワーク・ライフ・バランスの推進（＊時間外勤務時間「月20時間」をめやすに）

■柱2 自立に向けた子どもの力を伸ばす教育活動の工夫

○複式学級を見据えた、自立した学習者・学習リーダーの育成を柱とした授業づくり

○多様な他者との関わりの中で、多様な個人のウェルビーイングの実現を目指す場づくり

○教科の専門性と特別支援教育力の向上を目指した教科担任制

○あらゆる教育活動における非認知能力の育成のための研修と実践

■柱3 地域、保護者の願いを実現させる学校運営の推進

○地域の特色を大切にした教育の推進と地域の力の積極的活用

○地域学校協働活動の推進と学校運営協議会（C.S.）の活用

■柱4 危機管理の徹底と諸課題に迅速に対応した学校運営の推進

○確実な情報収集と記録に基づいた協議、チームでの確実で素早い対応